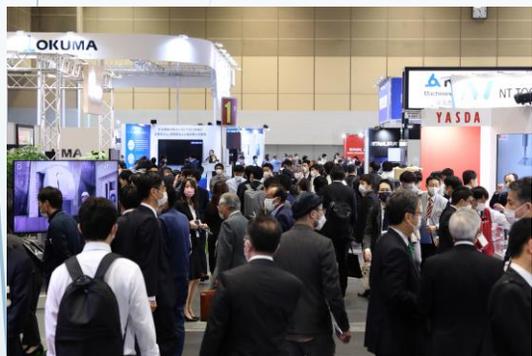


INTERMOLD / 金型展 / 金属プレス加工技術展2023

4月 東京ビッグサイトで開催

2023年4月12日(水)～15日(土) @東京ビッグサイト 東1・2ホール
完全事前来場登録制 (登録無料)

INTERMOLD 2023 金型展2023 金属プレス加工技術展 2023



一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人日本金属プレス工業協会は、2023年4月12日(水)～15日(土)に東京ビッグサイトで、金型・金属プレス加工の専門見本市「INTERMOLD / 金型展 / 金属プレス加工技術展2023」(運営：インターモールド振興会)を開催します。金型設計・製造から金属プレス・プラスチック成形に至る一連の工程における最新製品やサービスなど、注目のソリューション提案を行います。

会場内では注目テーマの展示企画フェアを実施予定。プラスチック加工に焦点を当てた「次世代プラスチック加工フェア」や、生産性向上・業務効率改善をテーマにした「製造業DXフェア」、次世代加工技術として注目される「3Dプリンティング&AM技術フェア」をはじめ、合計6つのフェアを展開します。各フェアと連動した専門的な講演も多数開講。基調講演として、荒波を生き抜く製造業に必須の内容をお伝えするセミナーを会期初日に開講します。

来場時は事前に登録サイトから情報登録を行う「完全事前来場登録制」です。現在、公式サイトから登録を受付中。ぜひご登録ください。

「空飛ぶクルマ」実機展示企画



次世代移動手段の1つとして実証実験が進んでいる最新モビリティ「空飛ぶクルマ」の実機が会場内に登場! 渋滞の解消や災害時の移動手段確保など、都市交通問題の解決手段となり得る可能性をもつ空飛ぶクルマに、インターモールド会場内で乗り込むことができます!

会場内では航空機部品に関する製造技術やサービスを紹介する「航空機部品加工技術フェア」を実施。4日間の開催期間中に関連技術もまとめてチェックすることができます。今話題の空飛ぶクルマの実機を展示会場でぜひご覧ください。(小間番号1-448)

■特別協力 株式会社AirX

AirXは空の交通の最適化を目指すデジタルプラットフォーム企業です。

私たちAirXは都市間の旅客・物資輸送を新しい交通インフラであるUAM(Urban AirMobility)を用いることで、都市部の渋滞解消・移動時間短縮や交通インフラが不十分な地域での移動手段の提供、災害時の活用など、新たな価値の創造し、誰もが利用できる世界の実現を目指しています。

■お問い合わせ インターモールド振興会 担当：橘

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 TEL：06-6944-9911 E-mail：infoim2023@tvoe.co.jp

★ロゴデータなどはこちらからダウンロードいただけます ▶ <https://www.intermold.jp/press/>

主催者ご挨拶

【INTERMOLD 2023 / 金型展 2023】主催者
一般社団法人日本金型工業会

一般社団法人日本金型工業会
会長 小出 悟

はじめに『INTERMOLD2023/金型展2023/金属プレス加工技術展2023』開催に際し、いまだに続くコロナ禍にもめげず多大なるご支援・ご協力を賜りました各出展企業、関係諸官庁ならびに関連諸団体の皆様のおかげで本展開催に至りましたことを厚く御礼申し上げます。

ウィズコロナの時代に入りこのタイミングを待っていたかのように世の中の様々な価値観が変わっていくような感覚を覚えるのは、おそらく私だけではないと思いますが、それほど大きな環境変化の中での本展開催となるわけで、正直それをも抱擁できるほどの展示会に仕切れた自信は無いものの、十分満足していただける展示会であることは感じていただけるものと思います。この変化もまだ始まったばかりであり、今後の本展の開催骨子にも今回の東京開催は大きく影響を及ぼすものになるだろうと感じています。今後ともあらゆる変化を見逃さず好機と捉え、果敢に新しい取り組みをし、それらを通じておぼろげながらも新時代の啓示となるものが表現される展示会へと発展させなければならないと思う次第です。このような時代を強く生き抜いていくために改めて面々での人との交流が大切であると思い知らされ、そんなタイミングでの今回の展示会ですが、21世紀のビジネスはどのような状況で推移するのか、情報はどのように入手し、どのように処理をしていかなければならないのか、デジタル化の進む時代は今とどんな違いで立ち向かうべきかに気づける展示会になればと、ワクワクする心持ちで臨めるような気も致します。いまの時代は正しい情報を大量に瞬時に入手しながら、分析・解析を滞ることなく進められ、それなりの回答として即活用でき、そうして行動に反映することにより、今までの具合の悪い仕組みにも改善の手を施すことができ、省人化さらには無人化へと工程を進ませ、どうしても進ませることのできないものは中核となる人材にて対処解決をする、いわゆるIT化の徹底の末の自動化の実現、その環境を持続的に管理する新しい人間の働き方を想像し、新しい自分ならではの仕組みを垣間見る良い機会であると言えます。

本展では、DXを念頭に置いた展示も数多くなされております。コロナのことはもう頭から拭い去り変化する時代の流れを、ご自身で体感していただきながらこれからの皆様の活動に活かしていただけるよう切にお願い申し上げます。最後になりますが日本のものづくりがこの変化の激しい中で、私たちのあくなき探求心と努力のもとさらなる活発的に発展し、それに対しても皆様が迷うことなく突き進んでいかれますことを祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。

【金属プレス加工技術展 2023】主催者
一般社団法人日本金属プレス工業協会

一般社団法人日本金属プレス工業協会
会長 高木 龍一

はじめに金属プレス加工技術展2023を開催できることを本当に嬉しく思い皆様に感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

金属プレス加工技術展は、2007年より開催し、新型コロナウイルス感染症で無念の中止を乗り越えて17回目を数えます。弊協会展示会推進委員会の活動により、会員の出展社数も51社出展とここ数年増加の傾向でありがたく思います。展示内容は、多くのご来場者に見ていただくため様々なアイデアを駆使して、技術力、特異性を表現しております。

金属プレス加工の分野では、以前より省力化、自動化を積極的に取り組み、コスト低減と品質の安定化を図って参りました。更なる合理化のためにデジタルトランスフォーメーション（DX）推進が叫ばれております。IIoTとAIを積極的に学び活用して、現場力とデジタル技術の双方を持つことが、これからの製造業の強みになると考えています。今後も現場で積み重ねてきたknow-howをAIに注入して活用できるようにすることで、将来に向けた新たな強みづくりに繋げていただければと思っています。

私達金属プレス加工業は、素形材産業分野の中でも特に量産性に富み、自動車をはじめ電機、電子、産業機械、建築、医療にまで、広く部品供給を行う業界として、本展示会の開催を通じて金属プレス加工技術の可能性を広く認識して頂くとともに塑性加工技術の活性化に貢献する所存です。

本展が盛大に開催されますことに御礼申し上げますとともに、開催に向けてご尽力くださいました関係省庁、関係諸団体、ご出展企業の皆様、また企画より準備監督頂きました皆様に深く感謝申し上げます。

最後となりますが、本展開催が出展企業の皆様、そして来場される皆様にとって、業容拡大や技術向上、情報収集の有益な機会として、実りある展示会となる様に、祈念致しております。主催者として4日間精一杯努めて参りますので、ご支援、ご協力の程よろしくお願い致します。

以上、簡単ではございますが、開会に先立ち紙面上のご挨拶とさせていただきます。

特別講演①

ただいまセミナー聴講登録受付中。一部登録不要で聴講可能なセミナーもありますので、タイムスケジュールと合わせて詳細は以下インターモールド公式ホームページからご確認ください。

<http://intermold.jp/seminar/>

【基調講演】

■「環境変化に対応するデンソーのモノづくり革新」

講師 株式会社デンソー 経営役員 海老原 次郎 氏

【次世代プラスチック加工フェア】

■「ヘミセルロースを活用した100%生分解性・植物由来樹脂の原材料化・製品化までの一貫製造方法」

講師 株式会社事業革新パートナーズ 代表取締役社長 茄子川 仁 氏

■「K2022から読み解くバイオプラスチック射出成形技術・金型技術の世界最新動向」

講師 小松技術士事務所 所長・ものづくり名人 小松 道男 氏

【自動車部品製造技術フェア】

■「CASEと自動車部品の動向」

講師 (一社) 日本自動車部品工業会 技術担当顧問 松島 正秀 氏

■「e-Mobility新時代、モノづくりの大変革が始まる」

講師 株式会社日本電動化研究所 代表取締役 和田 憲一郎 氏

■「自動車パワートレイン技術動向と求められる技術 (Game Changer となる生産技術)」

講師 日産自動車株式会社 パワートレイン生産技術開発本部 エキスパートリーダー 塩飽 紀之 氏

■「自動車プラスチック部品の動向と技術開発」

講師 日産自動車株式会社 生産技術研究開発センター プラスチック・エキスパートリーダー 水谷 篤 氏

【3Dプリンティング&AM技術フェア】

■「ISO/ASTM 52920で、AM製造・AM調達の何が楽になるのか」

講師 テュフズードジャパン株式会社 AMエキスパート 永野 知与 氏

■「国内AM活用の現状と実製品活用事例 ～どう変わるプラスチック成形とAM～」

講師 一般社団法人日本AM協会 専務理事 澤越 俊幸 氏
ゲストコメンター 一般社団法人西日本プラスチック製品工業協会
専務理事 平田 園子 氏

■「デジタル技術とAMの融合による製造業革新の兆し/AM研究会の御紹介」

講師 AM研究会事務局 / 株式会社シグマックス
常務執行役員 デジタル製造担当 桐原 慎也 氏
Industry Sherpa 製造業 ディレクター 和田 峻一 氏

■「カーボンニュートラル対策とAM/3Dプリンティング技術"AM製品のライフサイクルアセスメント (LCA) の活用"」

講師 テュフズードジャパン株式会社 AMグループ 部長代理 畝 竜哉 氏

■「AM/3Dプリンティングの最新動向：AMの現在と未来、一体どこに向かっているのか？」

講師 マークフォーर्ड・ジャパン株式会社 代表取締役社長 トーマス・パン (Thomas H. Pang, Ph.D.) 氏

【第15回「学生金型グランプリ～次世代のモノづくりを担う学生による金型製造技術の発表～】

■出題テーマ

プラスチック用金型部門課題 名刺ケース
 プレス用金型部門課題 ラック用金具

■参加校

○プラスチック用金型部門（4校） ○プレス用金型部門（3校）
 ・大分県立工科短期大学 ・岩手大学
 ・大阪電気通信大学 ・大阪工業大学
 ・九州工業大学 ・岐阜大学
 ・栃木県立県央産業技術専門校

■審査協力 株式会社ミットヨ

■表彰協力 （一財）産業デザイン

■出題協力 大垣精工株式会社 / 株式会社MDC

■主催 （一社）日本金型工業会

【（一社）日本金型工業会「インターモールドパネルディスカッション」】

■「激変するものづくり環境に対して金型業界はどう改革すべきか？～持続可能な金型産業になるためには～」

講師 一般社団法人日本金型工業会 学術顧問 横田 悦二郎 氏

金型マスター パネルディスカッション

■「持続性のある金型産業や企業のために必要な“武器”とは？」

モデレーター 一般社団法人日本金型工業会 学術顧問 横田 悦二郎 氏
 パネラー 小林工業株式会社 佐藤正樹 氏
 株式会社ヤマナカゴーキン 山根理利 氏
 株式会社阪村エンジニアリング 松井大介 氏

かながた小町&金型マスター パネルディスカッション

■「女性活躍社会は金型業界を変革させるか？」

パネラー 株式会社名古屋精密金型 渡邊祐子 氏
 株式会社アサヒダイテック 小川朋加 氏
 株式会社狭山金型製作所 東香奈恵 氏

【第15回 金型サロンin東京～金型関係者交流会～】

■「ポストグローバル時代における日産のモノづくり」

講師 日産自動車株式会社 常務執行役員 車両生産技術開発本部担当 平田 禎治 氏

【（一社）日本金属プレス工業協会 パネルディスカッション】

■「プレス部品づくりを夢と希望の持てる魅力ある業界に～市場変化への応答～」

パネラー 株式会社高木製作所 取締役会長 高木 龍一 氏
 中岡プレス工業株式会社 代表取締役社長 河野 正樹 氏
 株式会社最上インクス 代表取締役社長 鈴木 滋朗 氏
 タイメック株式会社 代表取締役社長 田中 健裕 氏

コーディネーター 株式会社ハヤシ 代表取締役社長 林 秀昭 氏

開催概要

- 名称：INTERMOLD 2023（第34回金型加工技術展）/ 金型展2023/ 金属プレス加工技術展2023
- 会期：2023年4月12日(水)～15日(土) 10:00～17:00 ※最終日15日(土)は16:00まで
- 会場：東京ビッグサイト 東1・2ホール（東京都江東区有明3-11-1）
- 主催：【INTERMOLD 2023 / 金型展2023】（一社）日本金型工業会
【金属プレス加工技術展2023】（一社）日本金属プレス工業協会
- 運営：インターモールド振興会
- 後援：経済産業省、外務省、東京都、独立行政法人日本貿易振興機構、東京商工会議所、日本経済新聞社、独立行政法人中小企業基盤整備機構（順不同）
- 協賛：【INTERMOLD 2023 / 金型展2023】 【INTERMOLD 名古屋 / 金型展名古屋】（順不同）
一般社団法人日本工作機械工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、日本工作機械輸入協会、一般社団法人日本金属プレス工業協会、日本精密機械工業会、一般社団法人日本機械工具工業会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本工作機器工業会、日本精密測定機器工業会、日本光学測定機工業会、ダイヤモンド工業協会、一般社団法人型技術協会、日本プラスチック機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益社団法人精密工学会、一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鑄造協会、一般社団法人日本AM協会
【金属プレス加工技術展 2023】 【金属プレス加工技術展 名古屋】（順不同）
一般社団法人日本自動車部品工業会、一般社団法人日本鍛圧機械工業会、一般社団法人日本金型工業会、一般社団法人型技術協会、一般財団法人素形材センター、一般社団法人日本産業機械工業会、一般社団法人日本ダイカスト協会、一般社団法人日本金属熱処理工業会、一般社団法人日本鑄造協会、一般社団法人日本鍛造協会、一般社団法人日本バルブ工業会、日本粉末冶金工業会、一般社団法人日本塑性加工学会、一般社団法人日本機械学会、公益財団法人天田財団、公益財団法人金型技術振興財団
- 開催規模：409社・団体、702小間（2023年4月7日時点）
- 入場料：3,000円（税込・事前来場登録後、来場者証持参者は無料）
- 公式サイト：<https://intermold.jp>



■お問い合わせ インターモールド振興会 担当：橘

〒540-0008 大阪市中央区大手前1-2-15 TEL：06-6944-9911 E-mail：infoim2023@tvcoe.co.jp

★ロゴデータなどはこちらからダウンロードいただけます ▶ <https://www.intermold.jp/press/>